

堀江中学校 校長室だより

令和8年度 No.9

# さくら



令和8年5月25日(月)

## 心を働かせる

わが家の朝食担当は私です。前夜にご飯を炊いておき、おかずは朝に用意します。おかずといっても、忙しい朝のことですから手の込んだものはできません。卵料理(目玉焼きか卵焼き)、みそ汁(具は冷蔵庫にあるものか乾燥わかめ)、あと一品(魚の缶詰、ハム、納豆などのいずれか)。そしてヨーグルトにコーヒー。私は作りながら食べ、その後は慌ただしく身支度を整えます。家を出る時間を考え、いかに効率的に早くできるかに頭を働かせるのです。

それでは、本日のタイトルである「心を働かせる」朝食づくりとはどのようなものでしょうか。

仕事のない休日の朝食づくりは、いつもとは違ったものになるように心がけています。食事内容は平日と大きくは変わりません。しかし、卵焼きであれば、中に具を入れてみたり、だし巻きにしたりします。そして、時間をかけて丁寧に巻き、ふっくらとした卵焼きに仕上げます。ヨーグルトも果物を入れるなどして、いつもと違ったものにします。用意した朝食を食べてくれる家族が、「美味かった」「満足した」と思えることを想像しながら工夫するのです。このように、誰かのためを思った行動こそが「心を働かせる」ということだと思います。

このことは、日々の様々な場面でいかすことができます。重たい荷物を抱えている人がいれば、一緒に持ってあげる。両手で荷物を持って部屋に入ろうとしている人がいれば、ドアを開け閉めしてあげる。誰かにメールを送ったり、手紙やメモを書くにしても、読みやすいように、相手が返信で困らないようにする。このような「心を働かせる」行動を、誰もが実践すれば、みんなが暮らしやすい世界になるのです。皆さんは、今日からどのような心の働かせ方をしますか。

〈保護者の皆様へ〉

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

